

「米澤 傑 テノール・リサイタル」(2021年7月8日(木)19時開演、あわぎんホール(徳島県郷土文化会館))

コロナ禍で、昨年は全国各地での11のコンサートが中止、今年も、4月の東京でのオーケストラとの共演、5月の鹿児島での「ナポリ祭」、6月の横浜での「第九」・・・とコンサートの中止が相次ぎましたが、先般・7月8日(木)に、徳島市で開催されました「米澤 傑 テノール・リサイタル」で、アンコールまで含めて26曲を無事に歌い終え、おかげさまで、お客様の皆様方から大変なお褒めを頂きました。

鳴門市に住む私の親友の立本利博君が「市民コンサート徳島(労音)」との共催で「米澤傑さんを聴く会」を立ち上げて、献身的なご助力をくださり、コロナ禍にありましても、東京や関西方面からお越しくださいました方々も含め、私の予想をはるかに越えるお客様にお越し頂き、鳴門市長様ご夫婦のご来場も賜り、この上なく有り難いことでございます。「米澤傑さんを聴く会」のプログラムを添付いたします。アンコールでは、「マッティナータ」「サンタ・ルチア」「グラナダ」を歌いました。

立本君は、コロナ禍で「ブラボー」の発声が出来ない現状に鑑み、色鮮やかな「ブラボーペーパー」をご作成くださり、お客様方は、精一杯の拍手とともに、「ブラボーペーパー」を高く掲げてくださいました。

会場の「あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)」は、809席のホールですが、コロナ感染対策としての私からの指示で、前5列を空席にして頂き、680席が使用可能でしたが、8割ほどの席が埋まっていたので、500名を超えるお客様にお越しいただくことが出来ました。(もちろん、私自身も、既にワクチン接種を済ませ、直前にPCR検査で「陰性」の確認も致しました。)

「市民コンサート徳島」の会員は、以前は、200名を越えていたのですが、現在は、150名くらいにまで減少して、今回の私のコンサート以外の際には、かなり著名なアーティストを招聘しているにも関わらず、809席の「あわぎんホール」に、150名くらいの会員がパラパラと座っているだけという状況であるとのことですので、私は、友人の献身的なご活動に救われました。

関西方面からお越しくださり、東京・大阪方面をはじめ、全国各地でのこれまでの私のコンサートのほとんどをお聴きくださっている方から、「Re: 素晴らしい歌唱にブラボータオル振り続けました!!」とのタイトルのメールで、以下のご感想を賜りました。

=====

会場では、沢山の聴衆の方々の興奮の波がうねっておりましたよ。益々、円熟味が増して、歌心が伝わってきて、何度も聴いたことのある私も、今まで以上に感動しました。この歳でよく声帯が保たれているなあと、驚くばかりです。もちろん、日々の鍛錬が功を奏しているんでしょうね。努力の賜物、心から拍手を送ります。

開催が心配されましたが、このコロナ禍のなか、あれだけの聴衆を集められたら大成功ですね。祝福いたします。関西、関東方面にお住いの方々の多くが、やはり県境をまたいでの徳島入りは躊躇され、来ることができませんでした。またいつか、セカンドリサイタルを開催してくださいね。実現を心待ちしています。

=====

「米澤 傑 テノール・リサイタル」徳島市あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

リーフレット [表面](#) [裏面](#) ([インタビュー記事](#))

プログラム [表面](#) [裏面](#)

[市民コンサート徳島のホームページ](#)より

「お客様方のご感想」([「市民コンサート徳島」のホームページ「あんさんぶる200号」より抜粋](#))